**■令和２年度の取り組みに係る情報共有について**

**資料２－４**

**令和２年度　子ども支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **第１回子ども支援部会** |
| 日時：令和２年９月２５日（金） |
| 会場：区役所第３庁舎５階「３５４会議室」 |
| 概要：（１）関係機関の連携・情報共有について |
| 相談窓口が増えてきた一方で、「なぜ連携していないのか」というご意見を保護者より頂くことがあるため、支援側として、連携の方法、情報共有の方法を検討していく必要性について話し合いを行った。 |
| （２）出席者の追加について |
| 検討テーマに即して、次回から指定障害児相談支援事業者にも出席を  依頼することになった。 |
| 出席：障害児通所支援事業者、思春期サポート事業者、行政職員  １２ヶ所、１２名（部会長含む） |
|  |
| **第２回子ども支援部会** |
| 日時：令和２年１１月２７日（金） |
| 会場：区役所第３庁舎５階「３５３・３５４会議室」 |
| 概要：（１）関係機関の連携・情報共有について |
| 第1回において保護者視点での情報の事前共有等の必要性について  話し合ったことを踏まえ、関係機関の効果的な支援のために必要な情  報や検討すべき課題について意見交換を行った。  　【主な意見・課題】  　　　・他の支援機関につなぐ際に、そこで正しいのか、どこまでできるのかが曖昧で迷うことが多い。  　　　・他の支援機関につなぐ前後の情報共有を密にしたい。（つながってくる前の機関での情報を生かしたい。つながった後に、どのような支援を受けているかを確認したいなど）  　　　・支援機関同士の連携において、互いの制度や事業の浸透度が鍵になることが多く、相互理解のための機会を更に増やしていく必要がある。 |
| （２）その他 |
| 障害児通所支援事業所連絡会（10月28日開催）において、福祉カレッジ子ども支援研修の企画に向けて、取り上げたい研修内容等に関するアンケートを行い、研修内容に反映させた。 |
| 出席：指定障害児相談支援事業者、障害児通所支援事業者、思春期サポート  事業者、行政職員　１７ヶ所、１７名（部会長含む）、欠席者３名 |
| **第３回子ども支援部会** |
| 日時：令和３年１月２９日（金） |
| 会場：区立障害児者総合支援施設（ぐるっぽ）１階「多目的室」 |
| （新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関る緊急事態宣言により中止） |

|  |
| --- |
| **令和３年度について** |
| １．支援機関同士の効果的な連携について  　　令和2年度の検討結果をもとに、挙がった意見や課題について具体的  に取り組んでいく。（事例検討、支援機関向けガイドブックの必要性等） |
| ２．第２期品川区障害児福祉計画について |
| 計画に盛り込まれた課題について検討していく。 |